

令和7年度事業報告

1 概 要

国勢調査に基づく人口推計資料によると、令和7年度における大分県の総人口は、5年前から約5万人減少し、65歳以上の人口割合（高齢化率）は、年々上昇傾向にある中で、昨年度16万人台に回復した受診者数は、少子高齢化や過疎化の進行、市町村の検診稼働日数の縮小等により、前年から約6,000人の減少となった。

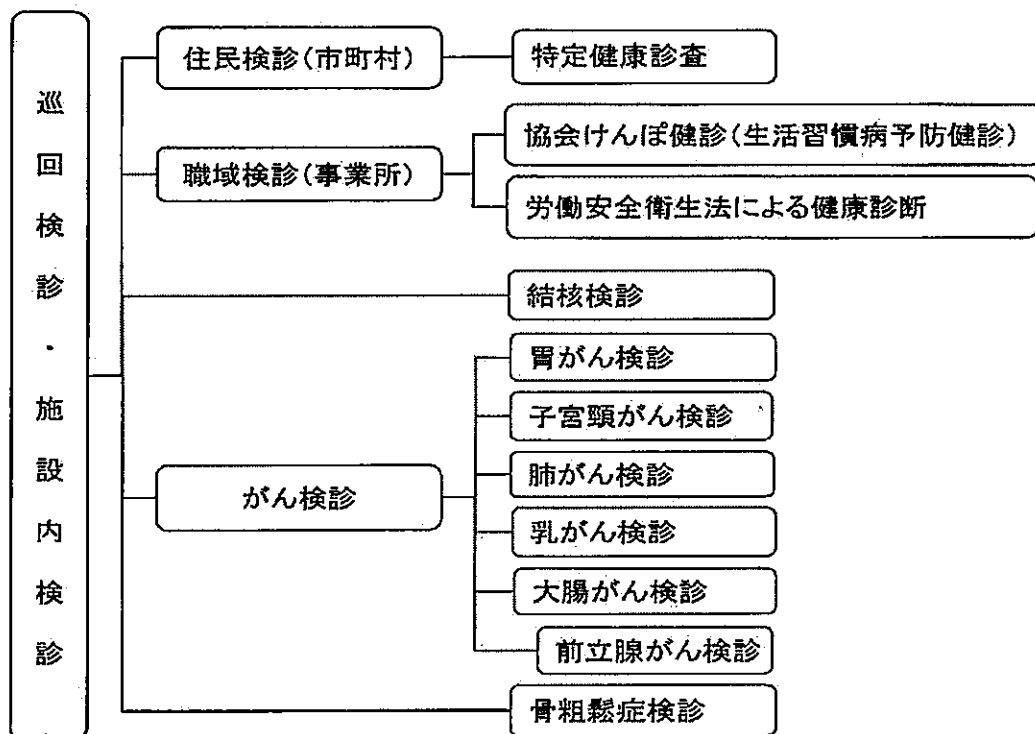
また、他の検診機関との競合やコロナ禍で様々な制約を受けた集団検診から個別検診に受診者が移行するなど、検診事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

内部的には、クリニックにおける増収の取組として、5月から11月の検診閑散期に土曜日を月2回開所するとともに、毎週水曜日を女性専用日としたレディース検診を拡充するなど受診者の確保に努め、さらには検診体制の充実を図るため、JKAの補助事業による胸部検診車の整備や各種健診で使用する医療機器等の更新を行った。

なお、決算状況については、検診料金の改定、人件費や諸経費等の節減に努めた結果、黒字決算を計上することとなった。

以下、令和7年度の検診事業、決算等について報告する。

【検診全体の体系図】



2 検診事業

(1) 検診の実施状況

令和7年度の住民検診、職域検診における受診者総数は、155,758人となり、前年度と比較して6,066人の減(3.7%の減)となった。

主な要因は、結核検診及び肺がん検診において、前年度胸部検診を代行した1市の受託が終了したことや検診稼働日数が63日減少したことに伴うものである。

なお、クリニックにおける健康診断については、前年度から342人の増加(4.3%の増)となった。

表Ⅰ 検診受診者数

(単位：人)

検診項目	7年度(A)	6年度(B)	増減 (A) - (B)
特定健康診査(住民)	15,422	15,919	△497
生活習慣病健診(職域)	16,464	15,406	1,058
結核検診	51,354	54,049	△2,695
骨粗鬆症検診	2,742	2,688	54
胃がん検診	8,651	9,406	△755
子宮頸がん検診	13,355	14,021	△666
肺がん検診	18,960	21,080	△2,120
乳がん検診	11,751	12,067	△316
大腸がん検診	17,059	17,188	△129
合 計	155,758	161,824	△6,066

(2) 特定健康診査、生活習慣病予防健診受診者への特定保健指導

特定健康診査(市町村国保加入者を対象)や生活習慣病予防健診(各健保組合被保険者・被扶養者を対象)の検診結果から生活習慣病の発症リスクが高い方(メタボリックシンドローム等)に対して、保健師や管理栄養士等が対象者の状況に合わせた生活習慣を見直すためのサポートを行った。

表Ⅱ 特定保健指導実施数

特定保健指導	7年度(A)	6年度(B)	増減 (A) - (B)
動機付け支援	112	123	△11
積極的支援	88	75	13
プレメタボ対策保健指導(大分市独自)	1	3	△2
合 計	201	201	0

(3) 精度管理の充実

検診で要精密検査となった受診者の結果を把握することは、がん検診の精度管理上、重要である。令和6年度に「要精密検査」の判定を受け、精密検査を受診した方ががん発見数については、次のとおりである。

なお、検診から結果把握まで期間を要することから、令和7年度の実績報告は1年遅れとなる。

表Ⅲ 精検結果状況（令和6年度）

（令和8年5月1日現在）

がん検診 種別	検診 受診者数 (人)	要精検者数 (人)	精検 受診者数 (人)	が ん		
				発見数 (人)	発見率 (%)	発見率 全国平均 (%)
胃がん	9,406	689	617	5	0.05	0.08
子宮頸がん	14,021	253	221	15	0.11	0.10
肺がん	21,080	551	495	13	0.06	0.05
乳がん	12,067	568	548	32	0.27	0.30
大腸がん	17,188	1,177	920	32	0.19	0.16
合 計	73,762	3,238	2,801	97	0.13	0.12

胃がん：X線検査のみの集計（内視鏡検査は含まない。）

子宮頸がん：CIN3以上（AISを含む）の発見数を集計

がん発見率全国平均：日本対がん協会各県支部の平均

(4) 施設・機器等の整備

老朽化に伴う施設設備、検診車両の更新及び医療機器の整備を次のとおり行った。

表Ⅳ 機器等の整備状況

（単位：千円）

項 目	内 容	整備費用	資金の調達
総合健診システム	改 修	2, 1 7 8	自己資金
PHR用システム	改 修	4 7 3	自己資金
乳がん検診読影用システム	増 設	2, 1 2 6	自己資金
胸部検診用読影パソコン	更 新	4 6 0	自己資金
健診システム様式変更 (協会けんぽ様式)	更 新	1, 3 2 0	自己資金

リフト付きデジタル胸部 検診車	更 新	53,101	自己資金
乳がん検診車X線装置交換	更 新	37,620	リース
心電計 1台	更 新	704	自己資金
メールシーラー 1台	更 新	1,484	自己資金
紙折り機	更 新	398	自己資金
	合 計	99,864	

3 普及啓発事業

普及啓発事業については、結核予防会及び日本対がん協会の支部として結核・呼吸器感染症予防週間、がん征圧月間に併せた広報宣伝活動を行うとともに、結核やがんに対する知識の啓発と予防意識の高揚を図り、活動資金を得るための募金活動を併せて実施した。

(1) 結核予防会大分県支部としての活動

①複十字シール募金活動：期間8/1～12/31

結核予防婦人団体の会員、県等と協力して募金運動に取り組んだ結果、県、市町村、婦人会等から1,819,247円の募金が寄せられた。

②結核・呼吸器感染症予防週間街頭キャンペーン：予防週間9/24～30

日 時 令和7年9月26日（金）

場 所 トキハ大分店前及び中央町商店街

内 容 結核予防婦人会、大分県健康政策・感染症対策課及び大分市保健所とともに街頭キャンペーンを行うとともに、複十字シール、リーフレット、ボールペン等を配布して、複十字募金を呼びかけた結果、9,306円の募金が寄せられた。

(2) 日本対がん協会大分県支部としての活動

①がん征圧月間9/1～30

がん予防に関するポスター、パンフレット、リーフレットを県、市町村及び医療機関等に配布するとともに、がん征圧月間に併せて新聞広告を掲載した。

②がん征圧運動

がん征圧運動事業促進のため、県、医師会、事業所等へ会員募集の協力を求めた結果、940,000円の募金が寄せられた。

③リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025大分

日 時 令和7年10月25日（土）26日（日）

場 所 大分スポーツ公園大芝生広場

主催者である日本対がん協会、大会実行委員会を事務局として支援した。

（3） 令和6年度各種検診・検査実績の公開

令和6年度の各種検診・検査事業実績等を後述の各種委員会において報告し、ホームページ上に情報を公開する。

4 研究・研修事業

各種がん検診の円滑な推進やがん患者の早期発見、精度管理の充実、向上を図るため、各種委員会を開催するとともに、検診に従事する職員の専門知識の修得及びセンター内外での研修等に努めた。

（1）各種委員会の開催

①細胞診判定委員会

日 時 令和8年2月4日（水）17時30分～

場 所 大分県医師会館

出席委員数 委員7名のうち6名

議 題 ・尿細胞診検査の状況
・肺がん検診（喀痰細胞診）の状況
・子宮頸がん検診の状況
・子宮頸がん検診票の一部変更について 等

②乳がん検診読影委員会

日 時 令和8年2月16日（月）19時～

場 所 大分県医師会館

出席委員数 委員14名のうち7名

議 題 ・乳がん検診の状況
・画質の現状と今後について
・発見乳がんの症例検討 等

③消化器がん検診委員会

日 時 令和8年2月18日（水）18時30分～

場 所 大分県医師会館

出席委員数 委員13名のうち8名

議 題 ・胃がん検診の状況
・大腸がん検診の状況 等

④結核・肺がん検診委員会

日 時 令和8年2月24日（火）18時30分～
場 所 大分県医師会館
出席委員数 委員10名のうち8名
議 題 ・結核・肺がん検診（胸部X線）の状況
・肺がん検診（喀痰細胞診）の状況 等

（2）「令和6年度」事業年報

前述「3 普及啓発事業」の（3）で掲載

（3）講習会・研修会等の開催事業

①検診スタッフ研修会

日 時 令和7年4月4日（金）11時～
場 所 大分県医師会館
参加者 職員、パート120名

②防災訓練（大分県医師会と共催）

日 時 令和7年12月22日（月）14時～
場 所 大分県医師会館
参加者 職員35名

③がん精密検診協力医療機関研修会（大分県医師会と共催）

日 時 令和8年1月25日（日）10時～
場 所 大分県医師会館
参加者 医師等173名

④人権啓発等研修会

日 時 令和8年3月6日（金）16時～
場 所 大分県医師会館
参加者 職員32名

⑤防災訓練（大分県医師会と共催）

日 時 令和8年3月10日（月）15時～
場 所 大分県医師会館
参加者 職員25名

（4）学会及び研修会等の参加

結核予防会・日本対がん協会関係

月	日	名 称	備 考
7	1 7	日本対がん協会全国支部事務局長会議	東京都
9	18・19	がん征圧全国大会	神戸市
1 1	10・11	九州地区結核予防婦人団体幹部講習会	佐賀市
1 1	2 8	結核予防会・日本対がん協会九州・沖縄各県支部合同会議	大分市
1	3 0	結核予防会全国支部事務連絡会議・事務局長研修会	東京都
2	25・26	結核予防関係婦人団体中央講習会	東京都
3	17・18	結核予防全国大会	松山市

学会関係

月	日	名 称	備 考
6	27～29	日本消化器がん検診学会総会	旭川市
6	28～29	日本臨床細胞学会春期大会	東京都
7	2 6	日本臨床細胞学会九州連合会学会	大分市
9	2 7	日本消化器がん検診学会九州地方会	大分市
1 1	29～30	日本臨床細胞学会秋期大会	WEB
1 2	2 3	胸部画像精度管理研究会	清瀬市
2	2 1	大分県臨床細胞学会	大分市
3	11～13	診療放射線技師研修会	WEB

外部精度管理事業

月	日	名 称
6	3	日本臨床衛生検査技師会臨床検査精度管理調査
7	4	大分県医師会臨床検査精度管理調査

5 その他

(1) 理事会・評議員会の開催

①令和7年度第1回理事会

日 時 令和7年6月4日(水) 15時

場 所 大分県医師会館6階研修室Ⅱ

出席者 理事13名のうち8名、監事1名

議 事

(審議事項)

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について

第2号議案 令和7年度定時評議員会の日時、場所及び目的である事項について

第3号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の推薦について

(敬称略)

選出区分	理事候補者	再任・新任
大分県医師会長	河 野 幸 治	再任
大分県地域保健支援センター事務局長	清 末 敬一朗	再任
大分県医師会副会長	内 田 一 郎	新任
大分県市長会代表	永 松 悟	再任
大分県町村会代表	安 部 徹 也	新任
大分県産婦人科医会副会長	貞 永 明 美	再任
国立病院機構別府医療センター院長	末 永 康 夫	再任
大分大学医学部附属病院長	井 原 健 二	新任
大分赤十字病院長	福 澤 謙 吾	再任
大分県結核予防婦人会副会長	安 達 美和子	再任
大分県福祉保健部県民健康増進課長	大 和 泉	新任
大分県地域保健支援センター診療所長	溝 口 洋 一	新任
大分県地域保健支援センター	谷 口 一 郎	再任

(注) 理事の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和8年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和9年6月招集）までとする。

第4号議案 監事の任期満了に伴う監事候補者の推薦について

(敬称略)

選出区分	監事候補者	再任・新任
此本会計事務所長	此 本 浩 毅	再任
日本赤十字社大分県支部事務局長	廣 瀬 高 博	再任

(注) 監事の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和10年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和11年6月招集）までとする。

第5号議案 評議員の任期満了に伴う評議員候補者の推薦について

(敬称略)

選出区分	評議員候補者	再任・新任
大分県歯科医師会	小 原 正 嗣	新任
国立病院機構西別府病院長	末 延 聡 一	新任
全国自治体病院協議会大分県支部長	宇都宮 徹	新任
大分県看護協会	玉 井 保 子	新任
大分県理学療法士協会長	市 川 泰 朗	再任
大分県栄養士会長	緒 方 雅 子	新任
大分県臨床検査技師会長	丸 山 晃 二	新任

(注) 評議員の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和10年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和11年6月招集）までとする。

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 理事長及び専務理事の職務の執行状況について

②令和7年度定時評議員会

日 時 令和7年6月23日（月）15時

場 所 大分県医師会館6階研修室Ⅱ

出席者 評議員7名のうち6名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について

(敬称略)

選出区分	理事候補者	再任・新任
大分県医師会長	河 野 幸 治	再任
大分県地域保健支援センター事務局長	清 末 敬一朗	再任
大分県医師会副会長	内 田 一 郎	新任
大分県市長会代表	永 松 悟	再任
大分県町村会代表	安 部 徹 也	新任

大分県産婦人科医会副会長	貞 永 明 美	再任
国立病院機構別府医療センター院長	末 永 康 夫	再任
大分大学医学部附属病院長	井 原 健 二	新任
大分赤十字病院長	福 澤 謙 吾	再任
大分県結核予防婦人会副会長	安 達 美和子	再任
大分県福祉保健部県民健康増進課長	大 和 泉	新任
大分県地域保健支援センター診療所長	溝 口 洋 一	新任
大分県地域保健支援センター	谷 口 一 郎	再任

(注) 理事の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和8年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和9年6月招集）までとする。

第3号議案 監事の任期満了に伴う監事の選任について

(敬称略)

選出区分	監事候補者	再任・新任
此本会計事務所長	此 本 浩 毅	再任
日本赤十字社大分県支部事務局長	廣 瀬 高 博	再任

(注) 監事の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和10年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和11年6月招集）までとする。

第4号議案 評議員の任期満了に伴う評議員の選任について

(敬称略)

選出区分	評議員候補者	再任・新任
大分県歯科医師会	小 原 正 嗣	新任
国立病院機構西別府病院長	末 延 聡 一	新任
全国自治体病院協議会大分県支部長	宇都宮 徹	新任
大分県看護協会	玉 井 保 子	新任
大分県理学療法士協会長	市 川 泰 朗	再任
大分県栄養士会長	緒 方 雅 子	新任
大分県臨床検査技師会長	丸 山 晃 二	新任

(注) 評議員の任期は、定款の定めるところにより、令和7年度定時評議員会での決議の日（令和7年6月23日）から、令和10年度事業年度に関する定時評議員会の終結の時（令和11年6月招集）までとする。

(報告事項)

第1号報告 監査報告について

第2号報告 令和6年度第2回理事会（3月26日）の決議内容等について

③令和7年度第2回理事会（定款第37条に基づく決議の省略による同意）

1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

(1) 河野 幸治理事を代表理事に選定し、理事長とする。

(2) 清末 敬一朗理事を業務執行理事に選定し、専務理事とする。

2 理事会の決議があったものとみなされた日

令和7年6月23日

④令和7年度第3回理事会

日 時 令和8年3月25日（水）14時30分

場 所 大分県医師会館6階研修室I

出席者 理事13名のうち9名、監事2名

議 事

(審議事項)

第1号議案 令和7年度収支補正予算案について

第2号議案 令和8年度事業計画案及び収支予算案について

第3号議案 事務局長の任免について

(報告事項)

第1号報告 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

第2号報告 経営推進計画について

(2) 福利厚生

当センターは経営の許容する範囲内において、職員に対して次の福利厚生を行った。

- ①当センターで行う定期健康診断の助成 ②職員駐車場の使用料助成
- ③慶弔見舞 ④被服貸与

6 資 料

- (1) 令和7年度・8年度役員（理事・監事）・評議員名簿
- (2) 組織構成図
- (3) 市町村健康診査受託状況
- (4) 令和7年度検診受診者数の内訳
- (5) 特定保健指導の支援形態

6 資料（1）

令和7年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選出区分
理 事 長	河野 幸治	大分県医師会長
専務理事	清末 敬一朗	大分県地域保健支援センター事務局長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	本田 博文	大分県町村会長
理 事	貞永 明美	大分県産婦人科医会副会長
理 事	末永 康夫	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	三森 功士	九州大学病院別府病院長
理 事	三股 浩光	大分大学医学部附属病院長
理 事	福澤 謙吾	大分赤十字病院長
理 事	安達 美和子	大分県結核予防婦人会副会長
理 事	羽田野 康仁	大分県福祉保健部健康増進室長
理 事	後藤 朗	大分県地域保健支援センター診療所長
理 事	谷口 一郎	大分県地域保健支援センター参与
監 事	此本 浩毅	此本会計事務所長
監 事	廣瀬 高博	日本赤十字社大分県支部事務局長

令和7年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選出区分
評議員	内田 一郎	大分県医師会副会長
評議員	藤本 洋士	大分県歯科医師会副会長
評議員	後藤 一也	国立病院機構西別府病院長
評議員	佐藤 昌司	自治体病院協議会大分県支部長
評議員	大戸 朋子	大分県看護協会会長
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	安部 澄子	大分県栄養士会名誉会長

令和 8 年度公益財団法人大分県地域保健支援センター役員名簿

役職名	氏 名	選出区分
理 事 長	河野 幸治	大分県医師会長
専務理事	清末 敬一朗	(大分県地域保健支援センター事務局長)
理 事	内田 一郎	大分県医師会副会長
理 事	永松 悟	大分県市長会代表
理 事	安部 徹也	大分県町村会代表
理 事	貞永 明美	大分県産婦人科医会副会長
理 事	末永 康夫	国立病院機構別府医療センター院長
理 事	井原 健二	大分大学医学部附属病院長
理 事	福澤 謙吾	大分赤十字病院長
理 事	安達 美和子	大分県結核予防婦人会副会長
理 事	大和 泉	大分県福祉保健部県民健康増進課長
理 事	溝口 洋一	大分県地域保健支援センター参与
理 事	谷口 一郎	大分県地域保健支援センター
監 事	此本 浩毅	此本会計事務所長
監 事	廣瀬 高博	(日本赤十字社大分県支部事務局長)

※ 選出区分欄の所属を（ ）で記している理事・監事は、4月1日現在、その職を退任されています。

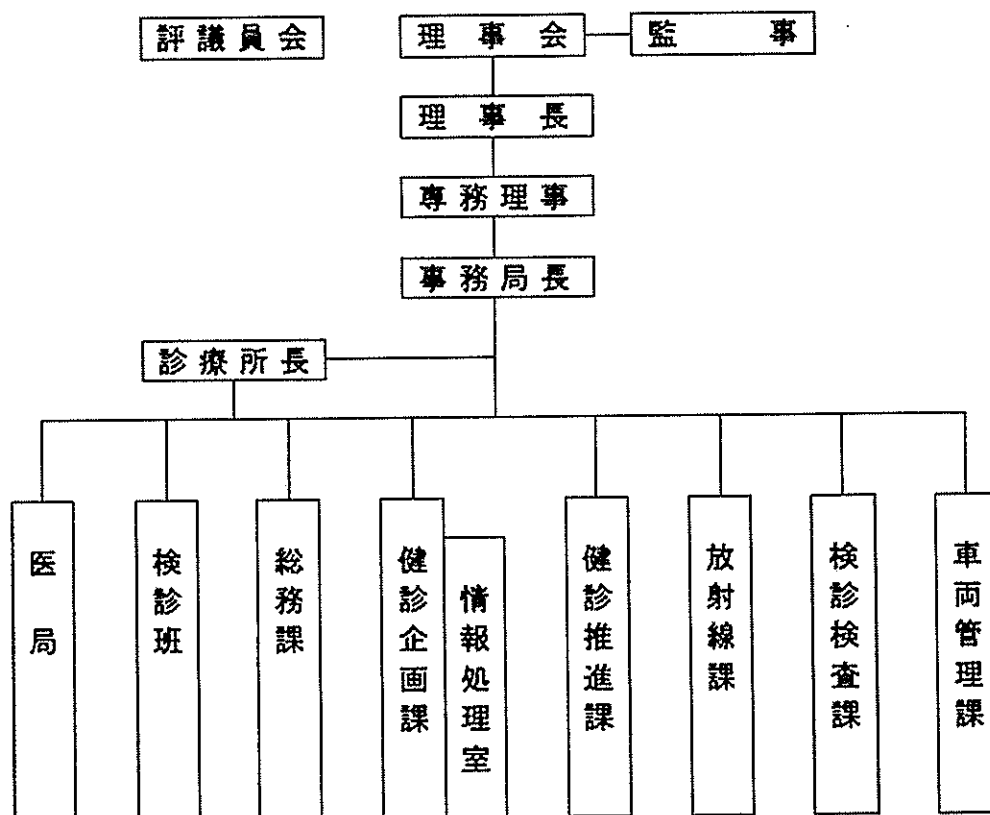
令和 8 年度公益財団法人大分県地域保健支援センター評議員名簿

役職名	氏 名	選出区分
評議員	小原 正嗣	大分県歯科医師会副会長
評議員	末延 聡一	国立病院機構西別府病院長
評議員	宇都宮 徹	全国自治体病院協議会大分県支部長
評議員	玉井 保子	大分県看護協会会長
評議員	市川 泰朗	大分県理学療法士協会会長
評議員	緒方 雅子	大分県栄養士会長
評議員	丸山 晃二	大分県臨床検査技師会長

6 資料 (2)

公益財団法人大分県地域保健支援センター組織機構図

令和7年4月1日



【職員数】

区 分		事 務	医 師	放射線 技師	保健師	看護師	臨床検査 技師	運転士	合 計
常勤役員	R 7	1							1
	R 6	1							1
職 員	R 7	12		6	3	5	7	4	37
	R 6	12		6	3	4	7	3	35
準職員	R 7	1							1
	R 6							1	1
嘱 託	R 7	5	1		1	4		5	16
	R 6	5	3	1	1	4		5	19
臨 時	R 7								0
	R 6	1							1
合 計	R 7	19	1	6	4	9	7	9	55
	R 6	19	3	7	4	8	7	9	57
増 減		0	△ 2	△ 1	0	1	0	0	△ 2

6 資料(3)

令和7年度 市町村健康診査受託状況

市町村	検 診 受 託 項 目														
	特定健診	特定保健指導		※推奨	胸 部			乳がん		胃がん		子宮頸がん	大腸がん	骨粗鬆症	尿細胞診
		積極的支援	動機付支援		単独検診			マンモ	エコー	血液	X線				
					結核	二重	喀痰								
大分市	●	○	○		●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	
別府市															
中津市	△				△	△		△	△	△	△	△	△	△	
佐伯市					○	○	○	○			○	○	○		
臼杵市												○			
津久見市	○	○	○	○				△	△	○	○	○	○	○	○
竹田市	○	○	○		○	○	○			○	○	○		○	○
豊後高田市											○	○			
杵築市	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宇佐市	△			○				○		△	○	○	△		
豊後大野市	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○
国東市	○	○	○	○						○	○	○	○		○
由布市	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
日出町	○	○	○	○						○	○	○	○	◎	○
姫島村				○				◎	◎		○	○		◎	
九重町	○			○				○	○	○	○	○	○	○	○
玖珠町	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
合 計	12	8	9	8	6	6	5	11	9	10	15	16	12	11	9

記号説明：◎は「新規受託」 ○は「継続受託」 ●は「施設（クリニック）実施のみ」 △は「一部受託」

※ 胸部検診の「推奨」における受託項目は、結核検診、二重読影、喀痰検査（ハイリスク者）です。

6 資料（４）

令和７年度検診受診者数の内訳

1 市町村住民検診

(単位：人)

検診項目	7年度（A）	6年度（B）	増減（A）－（B）
特定健康診査	15,422	15,919	△ 497
結核検診	17,386	19,892	△ 2,506
骨粗鬆症健診	2,048	2,074	△ 26
胃がん検診	6,169	7,076	△ 907
子宮頸がん検診	10,304	10,980	△ 676
肺がん検診	17,515	20,077	△ 2,562
乳がん検診	8,649	8,911	△ 262
大腸がん検診	13,530	14,012	△ 482
合 計	91,023	98,941	△ 7,918

(増減理由) ①特定健康診査 巡回健診中止（1市）、稼働日数の5日減（1市）
 ②結核検診及び肺がん検診 稼働日数24日減（胸部検診車の貸出終了）
 受託市町村の80％で受診者数の減
 ③胃がん検診 稼働日数の減、全受託市町村で受診者数の減
 ④子宮頸がん検診 巡回健診中止（1市）
 受託市町村の80％で受診者数の減
 ⑤乳がん検診 巡回健診中止（1市）
 2市で受診者数の減（272人の減）
 ⑥大腸がん検診 受託市町村の83％で受診者数の減

2 職域検診

(単位：人)

検診項目	7年度（A）	6年度（B）	増減（A）－B
生活習慣病健診	16,464	15,406	1,058
結核検診	33,968	34,157	△ 189
骨粗鬆症健診	694	614	80
胃がん検診	2,482	2,330	152
子宮頸がん検診	3,051	3,041	10
肺がん検診	1,445	1,003	442
乳がん検診	3,102	3,156	△ 54
大腸がん検診	3,529	3,176	353
合 計	64,735	62,883	1,852

(増減理由) ①生活習慣病健診 新規受託5事業所（829人の増）
 ②結核検診 県立学校健診で減（404人の減）
 ③骨粗鬆症健診 受託事業所の増（10事業所）
 ④胃がん検診 新規受託4事業所（127人の増）
 ⑤肺がん検診 新規受託事業所（447人の増）
 ⑥乳がん検診 1機関の受診者数の減（69名の減）
 ⑦大腸がん検診 新規受託5事業所（250人の増）
 クリニック受診者の増（88名の増）

6 資料（5）

特定保健指導の支援形態

1 動機付け支援（3か月）

令和7年度：112人（令和6年度123人）

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	約1か月後	手紙で情報提供
3	3か月後	電話
		終了評価

2 積極的支援（4～5か月）

令和7年度：88人（令和6年度75人）

回数	時期	支援形態
1	初回面接	個別面接
2	2週間後	電話
3	2か月後	手紙
4	3か月後	中間評価 個別面接と血液検査又は電話・手紙
5	4～5か月後	終了評価（電話） 中間評価で面接ができない場合は、5か月後に手紙支援（1回）

3 プレメタボ保健指導（大分市独自）

令和7年度：1人（令和6年度3人）

腹囲計測において基準以上の方が対象（血圧異常を含まない。）

動機付け支援、積極的支援は特定保健指導と同様。